

# エコアクション21 環境経営レポート

期間：2023年度（2023年10月～2024年9月）



2024年12月

## 目 次

1. 登録事業所の概要	..... 1
2. 環境経営方針	..... 4
3. 環境経営目標	..... 5
4. 主要な環境活動計画の内容	..... 5
5. 環境経営目標の取組結果の評価	..... 6
6. 環境関連法規制等の遵守状況	..... 7
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	..... 8

# 1. 登録事業所の概要

## 1) 事業者名及び代表者名

事業者 : 金本建設株式会社  
代表者 : 代表取締役 金本 俸謙

## 2) 所在地

本社 : 埼玉県さいたま市中央区新中里2丁目16番9号

## 3) 環境管理担当者連絡先

環境管理責任者 : 星野 照明  
推進事務局担当 : 松木 誠一郎、金本 香代  
連絡先 TEL : 048-852-3479  
FAX : 048-854-8040

## 4) 事業内容

- 一般土木工事
- 解体工事
- 産業廃棄物収集運搬業（積替え保管を除く）

## 5) 認証・登録範囲

全組織  全活動

## 6) 事業の規模

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	616.2	724.8	680.2
受託した収集運搬量	t	0	0	0
従業員数	人	13	13	13
事務所の延べ床面積	m3	185	185	141

### 2023年度の建設工事等の概要及び件数(2024年度繰り越し案件含む)

<元請工事・業務等>

工事・業務等の名称	規模(金額)	工事業務等の内容	対象期間
河川施設震災対策工事(三領排水機場耐震補強工)	件 111 百万円	河川工事	R4.10~R5.12
総選除)23旧川越岸町2丁目教職員住宅解体工事	件 177 百万円	解体工事	R5.8~R6.7
緊急浚渫推進工事(鴻沼川堆積土砂撤去・樹木伐採工)	件 64 百万円	河川工事	R5.11~R6.6
河川改修工事(護岸工)	件 83 百万円	河川工事	R5.9~R6.3
暮らしの道路整備工事(市道N380号線外1路線)	件 68 百万円	道路築造工事	R5.10~R6.8
河川施設震災対策工事(芝川排水機場耐震補強工)	件 50 百万円	耐震補強工事	R6.7.~R7.3
河川改修(水辺)工事(鴻沼川低水路護岸工その3)	件 54 百万円	河川工事	R6.9~R7.3
05県住入間霞川団地15号棟ほか解体工事	件 170 百万円	解体工事	R6.6~R6.3
砂塚橋補修工事(その2)(2債)	件 69 百万円	耐震補強工事	R6.9~R7.6

※元請け5千万以上の工事

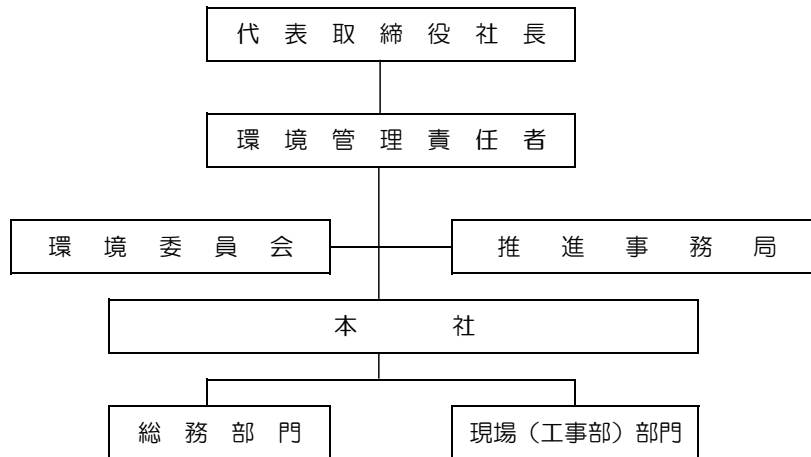
7) 法人設立年月日

昭和52年 4月 5日

8) 資本金

2000万円

9) 組織図



10) 許可の内容

- ① 特定建設業 建設業の種類 土木工事業 解体工事業  
 とび・土工事業 塗装工事業  
 ほ装工事業  
 しゅんせつ工事業

許可番号 : 埼玉県知事 許可(特-4)第300号  
 許可の有効期限: 令和5年 2月24日から令和10年 2月23日まで

② 産業廃棄物収集運搬業許可(積替え・保管は除く)

許可自治体	許可番号	許可年月日	有効期限	産業廃棄物の種類						
				汚泥	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類
埼玉県	第1101041128号	令和3年8月25日	令和8年7月4日	○	○*	○	○	○	□*	○*
東京都	第13-00-041128号	令和3年8月21日	令和8年8月20日	○	△	○	○	△	△	○*

\*: 石綿含有産業廃棄物を含む

《注》 □: がれき類を除く

△: 自動車等破砕物を除く

1 1) 施設の状況

油圧ショベル	0.5m <sup>3</sup> 級	2台
収集運搬車両	大型車（重機回送車）	2台
	10 t ダンプトラック	1台
	4 t ダンプトラック	1台



1 2) 産業廃棄物収集運搬及び処理料金

料金は、廃棄物の種類、量により計算いたします。下記担当までご連絡ください。

担 当 : 工事部 松木 誠一郎

TEL : 048-852-3479  
FAX : 048-854-8599

## 2. 環境経営方針

# 環 境 経 営 方 針

### 【基本理念】

金本建設株式会社は、全世界の次世代に希望溢れる未来を託すべく、地球環境保全に対し共生共栄共義の理念のもと、当社の事業活動のあらゆる分野で責任ある行動をもって環境に配慮した運営に積極的に努めます。

### 【基本方針】

当社は、『現在の我々の小さな一歩は、将来の大きな財産となることを確信して邁進します。』という基本方針のもと、あらゆる事業活動において環境保全への取組みを行います。

1. 環境経営マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め、継続的な改善とともに環境改善を推進します。
2. 事業活動に適用される環境関連法規制を常に確認して遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。
3. 土木工事・解体工事・造成工事・産業廃棄物収集運搬・事業所運営活動において、地球温暖化防止に努めます。
  - ①電気・燃料使用量の削減による二酸化炭素排出量の削減
  - ②事業活動から排出される一般廃棄物・産業廃棄物の排出量削減と分別作業によるリサイクル率の向上
  - ③節水活動による水使用量の削減
  - ④工事現場での環境に配慮した工法計画・実施・検証による環境負荷の低減
4. 地域社会における環境保全活動に参加し、社会貢献活動に努めます。

この環境方針を当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に公開します。

制定：2010年5月10日

金本建設株式会社

代表取締役 金本 俸謙

### 3. 環境経営目標

中期環境目標、並びに2023年度環境目標は下記のとおりです。

			基準値 (2017年度) ※1	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
				目標	目標	目標	目標	
二酸化炭素排出量	全社	(kg-co2)	131,822.6	125,231.5	123,913.2	122,595.0	121,276.8	
		事業所	(kg-co2)	7,459.4	7,086.4	7,011.8	6,937.2	6,862.6
		現場	(kg-co2)	124,363.2	118,145.0	116,901.4	115,657.8	114,414.1
	電力	全社	(kwh)	13,752.0	13,064.5	12,926.9	12,789.4	12,651.8
		事業所	(kwh)	13,745.0	13,057.8	12,920.3	12,782.9	12,645.4
		現場	(kwh)	7.0	6.7	6.6	6.5	6.4
	燃料	ガソリン	(L)	16,619.9	15,788.9	15,622.7	15,456.5	15,290.3
		軽油	(L)	31,581.6	30,002.5	29,686.7	29,370.9	29,055.1
		都市ガス	(Nm3)	329.0	312.6	309.3	306.0	302.7
廃棄物リサイクル率	産業廃棄物リサイクル率	%	89.34	89.34	89.34	89.34	89.34	
廃棄物排出量	一般廃棄物量	(kg)	158.5	150.6	149.0	147.4	145.8	
水資源の使用量	全社	(m3)	466.5	443.2	438.5	433.8	429.2	
	事業所	(m3)	67.5	64.1	63.5	62.8	62.1	
	現場	(m3)	399.0	379.1	375.1	371.1	367.1	
地域環境保全への参加		(回数)	12	12	12	12	12	

注：二酸化炭素排出量(電力)の排出係数は0.491kg-CO2/kWh(東京電力エナジーパートナー調整後排出係数)です。

※1：産業廃棄物リサイクル率は2019年基準 地域保全活動は2017年度基準

※2：化学物質の取り扱いはないため、化学物質使用量の目標項目はありません。

### 4. 主要な環境活動計画の内容

取組項目		活動計画の内容
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>未使用時の電気消灯の徹底</li> <li>室内温度管理の徹底(夏季28℃ 冬季20℃)</li> <li>昼休みの消灯</li> <li>節電表示による周知徹底</li> </ul>
	燃料使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイドリングストップの徹底</li> <li>効率の良い配車スケジュールの検討実施</li> <li>室内温度設定の管理徹底(都市ガス)</li> </ul>
廃棄物の削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>使用済み用紙の裏面使用</li> <li>廃棄物の分別を徹底する</li> </ul>
水資源使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>洗車等洗浄水の節約</li> <li>節水シール等の表示</li> </ul>
事務用品のグリーン製品の使用		<ul style="list-style-type: none"> <li>利用可能なエコ商品の検討及び購入</li> </ul>
環境負荷の少ない工法の採用		<ul style="list-style-type: none"> <li>低騒音・排ガス対策型の建設機械採用の促進</li> <li>最適な建設機械サイクルタイムの計画・促進</li> </ul>
環境保全活動の実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>現場パトロールの実施</li> <li>社内安全会議等による教育訓練の実施</li> <li>奉仕活動へ参加</li> </ul>

〈次年度の環境活動計画〉

次年度も今期と同様の活動を継続します。

## 5. 環境経営目標の取組結果の評価

環境活動計画の主要内容とエコアクション21を運用した2023年度における目標に対する実績とその評価は以下の通りです。

			2023年度		差	評価	
			目標	実績			
二酸化炭素排出量	全社	(kg-co2)	123913.2	93350.8	30562.4	○	
		事業所	(kg-co2)	7011.8	1744.6	5267.2	○
		現場	(kg-co2)	116901.4	91606.2	25295.2	○
	電力	全社	(kwh)	12926.9	11358.0	1568.9	○
		事業所	(kwh)	12920.3	2603.0	10317.3	○
		現場	(kwh)	6.6	8755.0	(8748.4)	×
	燃料	ガソリン	(L)	15622.7	10292.2	5330.5	○
		軽油	(L)	29686.7	24585.1	5101.6	○
		都市ガス	(Nm3)	309.3	216.0	93.3	○
産業廃棄物リサイクル率	産業廃棄物リサイクル率	%	89.34	99.40	10.06	○	
廃棄物排出量	一般廃棄物量	(kg)	149.0	90.0	59.0	○	
水資源の使用量	全社	(m3)	438.5	942.5	(504.0)	×	
	事業所	(m3)	63.5	20.0	43.5	○	
	現場	(m3)	375.1	922.5	(547.4)	×	
地域環境保全への参加		(回数)	12	12	0	○	

注：二酸化炭素排出量(電力)の排出係数は0.491kg-CO2/kWh(東京電力エナジーパートナー調整後排出係数)です。

※3：化学物質の取り扱いはないため、化学物質使用量の目標、実績項目はありません。

取組項目		評価及び見直し
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の電気使用量は目標を達成することが出来た。</li> <li>現場の電気使用量は目標を達成することが出来なかった。 現場の大型化により現場事務所の設置や仮設電気の使用などの理由により未達となった。</li> </ul>
	燃料使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガソリンの使用量は目標を達成することが出来た。</li> <li>軽油の使用量は目標を達成することが出来なかった。</li> <li>都市ガスの使用量は目標を達成することが出来た。 自社施工物件の増加により達成できなかった。</li> </ul>
廃棄物のリサイクル率		<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物量のリサイクル率は目標を達成することが出来た。</li> </ul>
廃棄物の削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物の排出量は目標を達成することが出来た。</li> </ul>
水資源の使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>水資源の使用量は事業所で目標を達成することが出来た。</li> <li>水資源の使用量は工事現場で目標を達成することが出来なかった。 水資源を大量に使用する現場の受注により未達となった。</li> </ul>
化学物質の使用量		<ul style="list-style-type: none"> <li>取り扱い無し</li> </ul>
地域環境保全への参加		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域環境保全へのボランティア活動は達成できた。</li> </ul>

## 6. 環境関連法規制等の遵守状況

(1) 当社に関連する主な法規制と現在までの遵守状況

法規制等の名称	当社の対応	遵守状況
騒音規制法	・規制基準の遵守	遵守確認済
	・該当する工事の場合は届出と計測実施	
振動規制法	・規制基準の遵守	遵守確認済
	・該当する工事の場合は届出と計測実施	
建設リサイクル法	・分別解体実施義務の遵守	遵守確認済
	・再資源化等の実施義務の遵守	
	・発注者への報告義務の遵守	
	・解体工事の届出、技術管理者選任	
廃棄物処理法	・廃棄物の削減	遵守確認済
	・廃棄物の適正処置の確保	
	・産業廃棄物保管基準遵守	
	・産業廃棄物処理委託基準の遵守	
	・産業廃棄物管理票の管理義務	
フロン排出抑制法	・フロン回収行程管理票の交付・保管	遵守確認済
	・事前確認書の発行	
	・廃棄の際、指定業者に処理料金を支払う	
家電リサイクル法	・廃棄の際、指定業者に処理料金を支払う	遵守確認済
大気汚染防止法	・届出の遵守	遵守確認済
	・作業基準値の遵守	
	・測定記録の保管期限遵守	
オフロード法	・排出ガス適合機器の使用	遵守確認済
	・適合シールの貼付と確認	
埼玉県生活環境保全条例	・アイドリングストップの実施	遵守確認済
さいたま市土砂のたい積等の規制に関する条例	・受入時土砂の確認	遵守確認済
	・許可を得た高さ及び法面勾配の確認	
さいたま市土砂のたい積等の規制に関する条例施行規則	・写真撮影	遵守確認済
	・さいたま市へ届出	

(2) 違反、訴訟等

環境関連法への違反はありません。なお、関係当局からの違反の指摘はありません。

## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

### (1) 見直し

- システムは有効に機能しているか：  いる  問題あり ( )
- 環境への取組は適切に実施されているか：  いる  問題あり ( )

### (2) 評価

- 環境目標の達成状況  達成  一部未達成 (水資源使用量)  未達成
- 環境活動計画の実施、運用結果  良好  一部問題あり ( )
- 環境関連法規等の遵守状況  良好  一部問題あり ( )
- 環境に関する苦情・要望  なし  あり ( )

### (3) 変更の必要性

- 環境方針  あり  なし
- 環境目標  あり  なし
- 環境活動計画  あり  なし
- 環境経営システム  あり  なし
- その他  あり ( )  なし

### (4) 指示事項

- 産業廃棄物リサイクル率が達成ではあったが、来期もリサイクル率向上に努めること。

- その他の項目については、現在の取組を続けること。